

ごうでいんぐ コラム 平成 30 年 7 月吉日 (副理事長・所長 海老澤政昭)

連日、酷暑が続いています。この暑さ、いつまで続くのでしょうか。ふと、自分が小学生の頃、こんなにも暑い日があったのだろうか、と思い、調べてみました。

1955 年 (昭和 30 年) の夏 (8 月) 平均気温は、26.3 度。1975 年 (昭和 50 年) の夏 (8 月) の平均気温は 27.3 度。それぞれの最高気温は、35.4 度と 35.6 度だそうです。最低気温の平均が 17 度～20 度前後であるため (1975 年)、夜は比較的過ごしやすかったと思われま

す。そういえば、自分が小学生の時には自宅にエアコンはなく、それでも、過ごせていたのは、日蔭では意外と涼を感じていたんだ、と思います。(涼を求めるいろいろな方法を知っていたのかも?) 夜は、網戸はなかったので、蚊帳を使っていたときも思い出されます。

中学になると、真夏の炎天下の部活動では“練習中、水は飲んではいけない”と言われていました。考えられないですね。

過去 50 年間の推移を見れば、気温が右肩上がりに変化しているわけではなく、ほぼ横ばい、むしろ、湿度は下がっているそうです。そうすると、自然に対する人間の抵抗力が低下しつつあるのかもしれないですね。無理は禁物ですが、心身ともに鍛錬することは大切なことと、あらためて感じずにはられません。

まだまだ暑い日が続くそうです。体調にご配慮を。

## 【今月の生活介護とデイの様子】

生活介護 お誕生のお祝い



原田デイ 魚釣りゲーム



今泉デイ 調理実習



## 【編集後記】

今月は、暑い日が続き、体調管理も大変でしたね。特に、熱中症にならないようにと、気を配って過ごしました。そんな中でも、みんないろいろな取り組みに挑戦していましたね。

各事業所で、送迎時地震想定避難訓練が行われました。いつ、何が起こるか分からないこの時代、ごうでいんぐでは、様々な訓練を仲間たちや子どもたちに体験してもらっています。保護者の皆様にもご協力をお願いすることも多いと思いますが、よろしく願いいたします。

【担当 外山】